2023 年度 データヘルス計画

実施状況

※特定健診・特定保健指導の実績確定は翌年 11 月であり、( )内の数値は令和 4 年度値

予算科目	注 1)事業分類	事業名	事業の目的及び概要	対象				事業費(千円)	実施状況・時期			注)2評価
				資格	対象事業所	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健診	1	特定健診	［目的］生活習慣病予防・改善 ［概要］特定健診・定期健診を含む人間ドックを受診	被保険者	全て	40~74	全員	118,905	受診者 18,391 人 (R4:99.0%) 4~3 月実施	平成 7 年度より事業主と共同で 40 才以上被保険者に人間ドック受診義務制度を設けた	退職後継続加入者が 100%受診できていない。	4
	1	特定健診	［目的］生活習慣病予防・改善 ［概要］特定健診を含む家族健診、又は人間ドックを受診	被扶養者	全て	40~74	全員	38,159	受診者 5,930 人 (R4:92.8%) 4~3 月実施	平成 7 年度より事業主と共同で家族健診受診義務制度を設けた	被保険者と比較し受診率が低い	4
特定保健指導事業	3	特定保健指導	［目的］生活習慣病予防・改善 ［概要］人間ドック受診健診機関を主に、その他、事業所訪問指導・ICT・健保保健師等で実施	被保険者	全て	40~74	基準該当者	30,079	動機づけ支援 901 人、 積極的支援 1,012 人 (R4:48.5%) 4~3 月実施	・勤務時間内の実施 ・健保保健師の活用 ・母体医務室で実施 ・特保未契約の契約施設に契約の依頼 ・契約施設に指導実施の強化を依頼 ・ICT の活用	・希望制であり、国の目標 55%に対し受診率が低い ・勤務時間中の指導は限定される ・新型コロナで一時停止	4
	3	特定保健指導	［目的］生活習慣病予防・改善 ［概要］ 家族健診の健保予約健診委託先、又は人間ドック受診先で指導を実施	被扶養者	全て	40~74	基準該当者	1,478	動機づけ支援 79 人、 積極的支援 39 人 (R4:20.3%) 4~3 月実施	・特保未契約の契約施設に契約の依頼 ・契約施設に指導実施の強化を依頼 ・静岡連合会共同事業に参加	・希望制で受診率が低い ・健保予約健診・人間ドック以外では特保の実施が困難	4
	7	メタボ改善案内	［目的］生活習慣病の自主的改善を促す ［概要］新 40 才・前年特保該当者に特保案内を個別配布	被保険者	全て	40~74	基準該当者	5	新 40 才 783 人 4~3 月実施 前年特保 598 人 4・5 月実施	新規 40 歳に個別配布することで制度を周知	自主的取組みを促すものであり、成果等の把握が困難	4
保健指導宣伝	4	健康講話	［目的］生活習慣改善等の知識の拡大 ［概要］健保主催の講話の他、事業所開催の健康講話に費用や資料代を助成	被保険者	全て	18~74	全員	201	申請（実施）5 回 869 人 助成 5 回 随時	Web 受講・アーカイブ配信により参加者が増加	・新型コロナ時は開催なし ・事業所の開催依頼がない	5
	4	機関紙の発行	［目的］情報発信、健康意識の高揚 ［概要］機関紙「健保だより」を発行	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	74	内部作成で 12 回発行 1,020 部/回 随時	月 1 回の定期配信により最新の情報を提供	職場回覧と HP への掲載のみ	5
	5	ホームページの更新・運用	［目的］健保制度等の周知 ［概要］法改正やお知らせ、公告等を 2 つの HP を活用して周知	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	647	母体社内イントラと一般の2つのホームページを更新・運用 4～3 月	・更新回数の意識的増加 ・リニューアルによるセキュリティ強化とスマホ対応	職種により社内 HP 内の健保 HP は見られない	5
	5	前期高齢者健診後フォロー	［目的］重症化予防 ［概要］各種健診後の受診調査	被扶養者	全て	60~74	基準該当者	28	各種健診後の再検調査対象 128 人 (受診率 93.0%) 随時(7/12 現在)	未受診者には手紙等による督促を実施	血圧・糖検査での未受診が多い	5
	5	メンタルヘルス推進サポート	［目的］精神疾患の対応と予防 ［概要］母体精神科産業医の行う相談に費用の一部を助成	被保険者	母体	18~74	基準該当者	0	停止(停止前と同様の利用体制で母体が負担)		・母体本社のみの取組み。 ・利用者が同じ場合がある ・契約終了により停止	2
	5	健診後フォロー	［目的］生活習慣病予防・改善、並びに重症化予防 ［概要］ 個人面談の他、パンフレット配布、電話相談を実施。ドック結果に基づく健康情報を 1 月より配布。また各種健診後の受診調査を実施	被被扶保養険者者	全て	18~74	基準該当者	116	個別面談 3 社 59 人、パンフレット配布 41 人、電話相談 83 人。社員:ドック後再検調査対象 2,353 人(受診率 97.2%)、家族:健診後再検調査対象 456 人(受診率 85.3%) 4~3 月実施(再検:7/12 現在)	・社員のドック後再検調査は、事業主との共同事業であり、グループ方針 ・家族の健診後再検調査も社員と同じ項目で実施	・3 月受診者の一部の検査は 6 月末迄に受診終了できない ・健診は受診しても再検は拒む方がいる	3

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的及び概要	対象				事業費(千円)	実施状況・時期			注)2評価
				資格	対象事業所	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	7	禁煙推進サポート	［目的］喫煙に伴う関連疾病の削減 ［概要］ 禁煙外来を受診し、禁煙達成者に費用の一部を助成	被保険者	全て	18~74	基準該当者	12	禁煙外来:助成2人/申請1人。事業PRの他、出生児申請時・特定保健指導配布時等にも広報 4~3月実施	期間4~9月を通年に変更 (前年度申請分を含む)	・タバコ値上時は助成が急増したが、現在は参加者が少数 ・チャンピックスの供給停止	5
	7	医療費適正化対策	［目的］医療費削減 ［概要］レセプト点検は、実績のある専門業者に委託	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	1,691	レセプト点検委託:819,791件、年間医療費通知:R4年24世帯、R5年916世帯、支給決定通知:5,536部 4~3月実施	ロジック点検は経験値が増え実績がアップ	要配慮個人情報のため、外部への持出し点検を中止	5
疾病予防	1	人間ドック	［目的］健康状態の確認、並びに疾病の早期発見・早期治療 ［概要］年度1回、誕生月に受診	被保険者	全て	40~74	全員	443,157	受診者18,503人(40未満112人含) 4~3月実施	平成7年度からスズキグループ方針として100%受診を目指す	再雇用初年度の4～6月生が年度2度受診となる	4
	1	歯科健診	［目的］口腔内の健康状況の確認、並びに歯周疾患の早期発見・早期治療 ［概要］年度1回、誕生月に受診	被保険者	全て	40~74	全員	37,842	受診者12,702人 4~3月実施	平成9年度からスズキグループ方針として100%受診を目指す	当初のかかり付け歯科医での健診から集団健診にずれが発生	3
	1	家族健診	［目的］健康状態の確認、並びに疾病の早期発見・早期治療 ［概要］年度1回、集団健診・個人健診にて受診	被扶養者	全て	40~74	全員	53,113	受診者6,122人(ドック受診1,234人含、内40才未満61人) 4~3月実施	平成7年度からスズキグループ方針として100%受診を目指す	新型コロナによる受診控えが一定数いる	4
	1	婦人科検診	［目的］婦人科疾患の早期発見・早期治療 ［概要］希望者に乳癌・子宮癌検診費用を助成	被保険者	全て	18~74	全員	8,004	受診者1,589人 4~3月実施	40才以上は、人間ドック受診時に合わせて受診		4
	1	二次検診	［目的］利便性考慮、医療費削減 ［概要］母体医務室での血液・尿の検査を中心に、検査費用を負担	被被扶保養険者者	母体	18~74	基準該当者	6	受診者21人(被保険者21人、被扶養者0人) 4~3月実施	血液・尿の検査は、勤務時間内に対応が可能	・血液・尿を中心とした検査は、母体のみの対応となる ・空腹時での呼出し不可	4
	7	家庭用常備医薬品の斡旋配布	［目的］軽微な疾病は常備医薬品で対応し、医療費削減に繋げる ［概要］応急処置用として常備医薬品を斡旋配布	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	911	購入者: 7月6,747人、 12月6,473人 7・12月配布	特納品を多く採用し、割安感を出した特別価格商品を用意	子供は医療費助成で常備薬を購入しない	4
	7	ジェネリック医薬品	［目的］薬剤費削減 ［概要］レセプトより、500円以上の切替効果のある被保険者・被扶養者に通知	被被扶保養険者者	全て	18~74	基準該当者	1,091	通知3,555人、 効果額2,487千円 6・10・1月配布	対象年齢・対象疾病の拡大	子供は医療費助成でジェネリックを敬遠	1
	7	健康表彰	［目的］健康者へのインセンティブとして実施 ［概要］平成31年4月～令和2年3月の未受診世帯を表彰	被被扶保養険者者	全て	40~74	全員	264	表彰世帯:265世帯。購入補助券利用97人。未利用者168人にクリーンデンタルF薬用歯みがきセット、フレッシュ フロスピックを送付 12月配布		常備医薬品斡旋時の購入補助券に変更したが利用者は少ない	4
体育奨励	7	ウォーキング	［目的］ウォーキング習慣の定着と健康度アップ ［概要］職場・事業所単位の6km以上のウォーキングに対し費用を助成	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	102	スズキ3工場、代理店1社205人 4~3月実施対象		新型コロナで開催減少	1
その他	7	固定施設	［目的］体位向上、疾病の一次予防、ストレスの発散 ［概要］保有する体育館・グランドを利用し、目的を達成する	被被扶保養険者者	一部の事業所	0~74	全員	165	・スズキ体育館12,619人、 ・スズキグランド3,797人 4~3月実施対象	管理・運営を母体に依頼	・利用者が限定 ・新型コロナで令和元.7.31より一時休止	4

注1) 1. 健康診査　2. 健康診査後の通知　3. 保健指導　4. 健康教育　5. 健康相談　6. 訪問指導　7. その他
注2) 1：40%未満　2：40%以上　3：60%以上　4：80%以上　5：100%以上